

特定小電力トランシーバー **FIRSTCOM**

FC-S22

取扱説明書



この度は FIRSTCOM FC-S22 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
どうぞ。

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

故障の疑いがある場合、まずリセットを行ってください（39 ページ参照）。また、ハンズフリー機能（VOX 機能）がオフになっていることをご確認ください。

このトランシーバーは日本国内専用機器です。海外ではご使用できません。

株式会社 エフ・アール・シー

目次

安全上のご注意.....	3
通信チャンネルについて	8
FC-S22 の便利な機能.....	9
ご使用前の準備.....	10
同梱品の確認.....	10
使用する電池.....	11
充電.....	12
電池の取り出し・取り付け.....	14
ベルトクリップの取り付け.....	15
イヤホンマイクの取り付け（オプション）.....	15
各部の名称.....	16
表示説明	16
基本編.....	18
電源を入れて通話をする.....	18
応用編.....	20
機能設定一覧.....	20
Key Function（キー機能選択）.....	21
その他の便利な機能.....	24
グループ番号の設定（Group）.....	24
時刻設定（Clock）.....	25
VOX 感度調整（VOX Gain）.....	26
VOX 保持時間（VOX Delay）.....	27
キーロック（Key Lock）.....	28
キーロック解除.....	29
LCD バックライト設定（Lamp Control）.....	29
録音再生（Play Record）.....	30
録音消去（CLR Record）.....	31
キー操作音（Key Beep）.....	32
呼出音（Call Beep）.....	33
ラジャービーブ（Roger Beep）.....	34
オートパワーオフ（Auto Power Off）.....	35
スクェルチ設定（Squelch）.....	36
FM デュアルウォッチ（FM Dual Watch）.....	37
トークビーブ（Talk Beep）.....	38
リセット	39
故障かと思ったら	40
仕様	41

安全上のご注意

表示について

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用にあたり、次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

	危険	人体が死亡もしくは重傷を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。
	警告	人体が死亡もしくは重傷を負いかねないことが生じることを想定される内容。
	注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

危険

- 可燃性ガスの発生する場所で使用しない。引火、爆発の恐れがあるので、可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
- 電池の取り扱いについて
- 本機の使用にあたり、指定の電池以外使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 充電温度範囲は5～40℃です。この温度範囲以外では、充電しないでください。
- 指定された充電器以外では充電しないでください。
- 火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用を止めてください。

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。コインやヘアピンなどの金属と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。



警告

■ 使用環境・条件

- 運転中の使用は、絶対に行わないでください。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 本機は直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- ごく近くに人がいる場合、送信しないでください。
- 湿度の高い場所での使用はお止めください。また、雨水などにさらされないように注意してください。
- 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただきました販売店または弊社までご連絡ください。
- この製品は調整済みです。分解・改造をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子をショートさせないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を本体から外して常温で保管してください。
- 海外では使用できません。

■ 充電器の取り扱いについて

- AC100V 以外の電圧で使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。加熱・発熱の原因になります。
- 濡れた手で AC コードのプラグに触れたり、電源コードの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
- 水をかけたり、水が入らないように使用してください。

❗ 注意

■ 使用環境・条件

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- アンテナを誤って目に差したりしないよう注意して使用してください。

■ 保守・点検

- 長期間使用しないときは、電池を外して保管してください。
- 水滴が付いたら、乾いた布で拭き取ってください。本機の汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を使用し柔らかい布で軽くふき取ってください。シンナーやベンジンなどは使用しないでください。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



電波法に関する注意

*下記の内容は、電波法により禁止されています。

- 本体裏面の技術適合証明ラベルを剥がしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記の内容をよく理解して、正しくご使用ください。



ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーにグループモードが無い場合、本機のグループモードはオフにしてご使用ください。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安としまして、見晴らしの良い郊外でおよそ1～2km、市街地でおよそ100～200mです。建物などの障害物により通話距離が大きく左右されます。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や水がかかるようなところでの使用は、本体が濡れないように注意して使用してください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐ近くでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。



特定小電力トランシーバーの規格による制限

● 通信時間制限について

特定小電力トランシーバーで連続的に送信する場合は、3分間で自動的に送信を停止します。

3分間の通信時間制限機能により自動停止になった後の2秒間は送信できません。2秒間経過後は、通常通り送信できます。

● キャリアセンスについて

無線機が通話状態に無い時に、他の無線機から信号を受信中に“PTT”ボタンを押しても、アラーム音が鳴り送信できません。通話状態にある時はこの限りではありません。

通信チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

本機および多数の20ch機	11ch機	9ch機	他表示タイプの20ch機
ch1	ch1	—	ch1
ch2	ch2	—	ch2
ch3	ch3	—	ch3
ch4	ch4	—	ch4
ch5	ch5	—	ch5
ch6	ch6	—	ch6
ch7	ch7	—	ch7
ch8	ch8	—	ch8
ch9	ch9	—	ch9
ch10	ch10	—	ch10
ch11	ch11	—	ch11
ch12	—	ch1	ch h1
ch13	—	ch2	ch h2
ch14	—	ch3	ch h3
ch15	—	ch4	ch h4
ch16	—	ch5	ch h5
ch17	—	ch6	ch h6
ch18	—	ch7	ch h7
ch19	—	ch8	ch h8
ch20	—	ch9	ch h9

FC-S22 の便利な機能

1 グループモード

仲間以外の混信を防ぐグループモード。本機以外でも互換性のある CTCSS グループモードと本機専用の DCS グループモードを搭載

2 ハンズフリー機能

PTT を押さなくても、マイクに向かって話すと自動送信されます

3 トークビープ

会話の頭切れを防ぐために話を始めるタイミングをビープで知らせます

4 FM ラジオ

通常の FM ラジオに加え、ワイド FM【FM 補完放送】対応

5 録音機能

送受信を行った際の音声を録音できます。

6 大型フルドット LCD

7 高輝度 LED ライト

*本機は、日本語表示は行いません。

ご使用前の準備

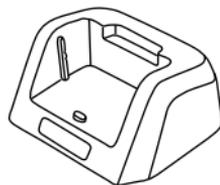
同梱品の確認



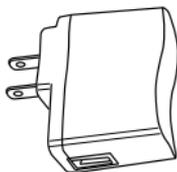
本体



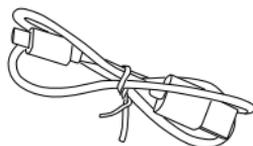
充電電池



充電器スタンド



AC アダプタ



USB 充電ケーブル



ベルトクリップ



取扱説明書



ストラップ

使用する電池

本機で使用する電池は付属の電池を必ずご使用ください。

付属電池: NX-20BT (リチウムイオン電池パック 3.7V 1,000mAh)



電池の使用可能時間の目安

約 30 時間

測定条件：付属新品電池満充電の状態、低周波出力定格 200mW、送信 10 秒、受信 10 秒、待受 80 秒の繰り返し動作

注意

- 1 電池の消耗を防ぐため、受信待受け状態が 10 秒間継続するとバッテリーセーブ機能が動作開始します。バッテリーセーブ中、受信立ち上がりおよび VOX 送信立ち上がり等に通常より時間がかかる場合があります。
- 2 充放電を繰り返すと、使用可能時間は徐々に短くなります。
- 3 長期間製品を使用しない場合、無線機から電池を取り出して保管をしてください。長期間保存後に使用する場合は再度充電してからご使用ください。
- 4 不要になった電池は充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

■電池残量表示

電池残量表示は3段階あり、残量の目安をあらわします。

満充電の時、残量バーが3個点灯します。残量バーが空になると、約20秒毎に赤いLEDが一瞬点灯し「ポポッ」と警告音が鳴ります。この場合電源を切って早めに充電をしてください。

電池残量の目安

3:	75% 以上
2:	50% 以上
1:	25% 以上
0:	5% 以下



充電

初めて本機を使用するときは、最初に充電をしてください。

充電電池が空の状態からおよそ2時間で満充電になります。

充電方法は以下2通りあります。

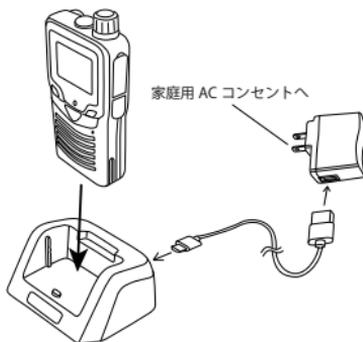
1. 充電スタンドによる充電

ACアダプタをコンセントに差し込みます。

USBケーブルの一方をACアダプタのUSB端子に接続します。

充電器スタンドの背面にUSBケーブルのmicroUSB端子を接続します。

無線機の電源を切って充電器スタンドに差し込むと充電が開始されます。充電器のガイドレールに本体のスリットが入るように差し込んでください。



充電器スタンドのLEDの色は以下ようになります。

充電中	赤
満充電	緑

2. USB 端子による充電

AC アダプタをコンセントに差し込みます。

USB ケーブルの一方を AC アダプタの USB 端子に接続します。

無線機本体の USB カバーをめくって USB ケーブルの microUSB 端子を無線機のコネクターに挿入します。

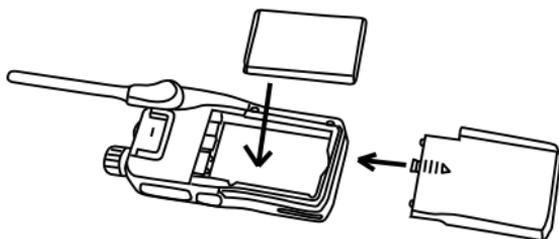


本体 LED の色は以下ようになります。

充電中	橙
満充電	青

電池の取り出し・取り付け

- 1 背面電池カバーを下にスライドさせて電池装着部を開けます。
- 2 電池端子が本体の端子に接続する位置、向きに電池を装着します。
- 3 電池カバーをスライドさせて閉じます。



電池に関する注意

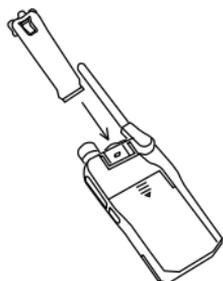
電池は使い方を誤ると破裂、破損、液漏れや機器の故障の原因となります。下記注意事項を守ってご使用ください。

- 火の中に投げ込まないでください
- ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。
- 長時間使用しない時は、電池を本体から取り出して保管してください

ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本体背面の取り付け位置へ上から挿入し、カチッと音がするまで下にスライドさせて取り付けてください。

取り外すときは、背面のロックを手前に起こしながら、クリップを下から押し上げて取り外してください。



ストラップは、ベルトクリップのストラップホールに通し、通した紐の輪にストラップを通します。紐にストラップ全体を潜らせて引き絞ってください。

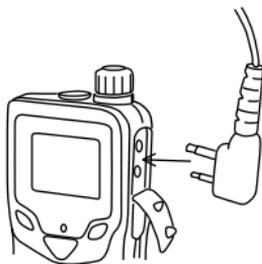
イヤホンマイクの取り付け（オプション）

本体右横のイヤホンマイクジャックのカバーをめくってイヤホンマイクプラグを差し込んでください。

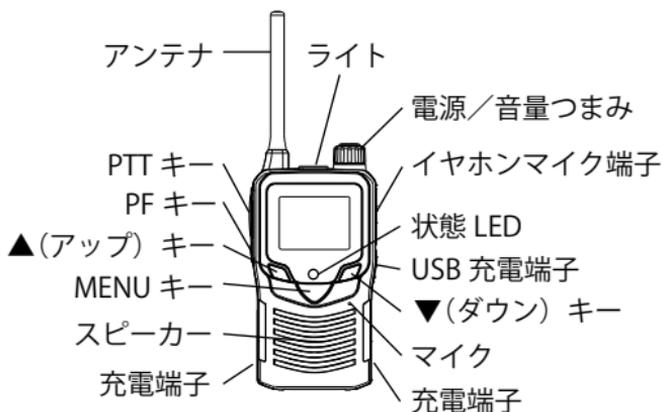
使用できるイヤホンマイクは弊社オプションのFタイプとなります。詳細はオプションの項目参照ください。

！ 注意

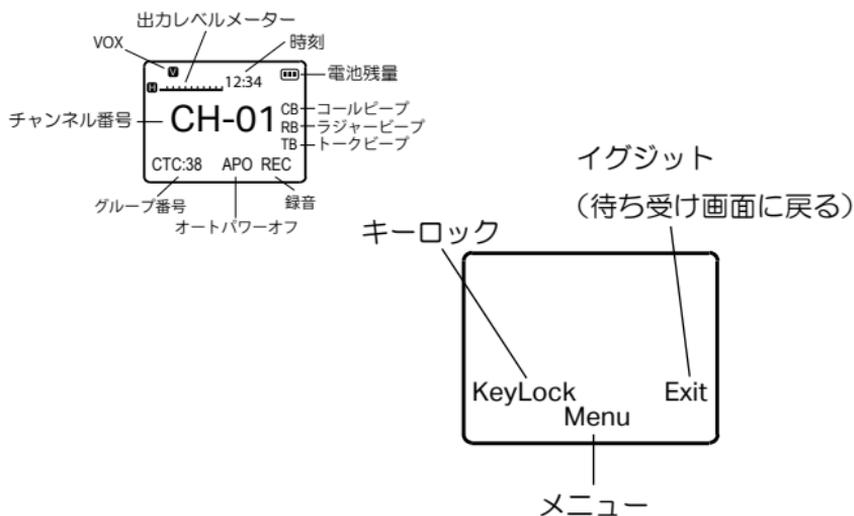
イヤホンマイクのケーブルを強く引っ張ったり、可動部分に過大な力で操作をしたりすると、断線や破損の恐れがあります。

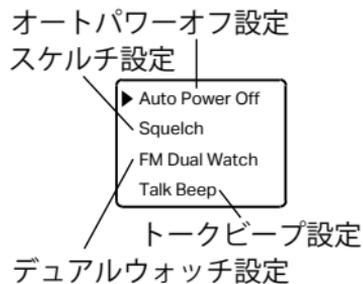
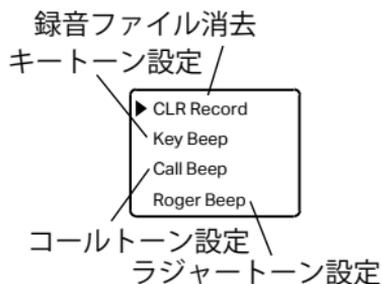
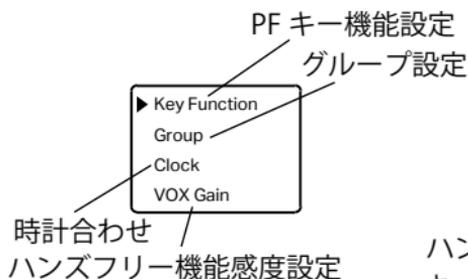


各部の名称



表示説明





電源を入れて通話をする

通話する相手のトランシーバーと同じチャンネルに合わせ、送信・受信を交互に切り替えながら通話します。まず、2台で通話テストを行ってください。

■ 電源を入れてチャンネルを合わせる

- アンテナを立て、電源スイッチ・音量つまみを右に回して電源を入れ、音量つまみを適度な位置に調整してください。
- UP/DOWN キーを押して希望のチャンネルに合わせます。

■ 送信する

- PTT スイッチを押しながら会話を開始します。
(送信中は LCD 左上にメーターが点灯、状態 LED が赤く点灯します)

■ 受信する

- PTT スイッチから手を離すと受信待受け状態になります。
- 信号を受信するとアンテナアイコンが表示され、状態 LED が緑色に点灯します。
- 音量つまみを回して受信音量を調整してください

■ 電源を切る

- 電源を切るときは電源 / 音量つまみを反時計回りにカチッと音がするまで回して電源を切ります。

! 注意：

初めて送信するときに信号を受信中（状態LEDが緑に点灯している間）にPTTを押して送信をしようとしても送信禁止音が鳴って送信できません。

受信状態が終わってから（緑のLEDが消灯してから）PTTを押して送信を開始してください。

送受信状態 LED

送信	赤
受信	緑
待受	消灯

応用編

機能設定一覧

FC-S22 には、メニューにより以下の設定が可能です。

機能表示	機能	設定値	初期値
Key Function	キー機能選択	Record/Flashlight/ Scan/Alarm/Radio/ Monitor/Unassigned	
Group	グループの設定	CTC/DCS/Off	Off
Clock	時刻設定		-
VOX Gain	VOX 感度調整	1/2/3/Off	Off
VOX Delay	VOX 保持時間	0.3/0.5/1.0/1.5/ 2.0/3.0 秒	1.0 秒
Key Lock	キーロック設定	Manual/Auto	Manual
Lamp Control	LCD バックライト設定	Auto/Off/On	Auto
Play Record	録音再生		-
CLR Record	録音消去		-
Key Beep	キー操作音	On/Off	On
Call Beep	呼出音	1/2/3/Off	Off
Roger Beep	ラジャービープ	On/Off	Off
Auto Power Off	オートパワーオフ	Off, 10 分 /30 分 /1/2/3/4/5/6 時間	Off
Squelch	スクエルチ設定	0/1/2/3/4/5/6/ 7/8/9	5
FM Dual Watch	FM デュアルウォッチ	On/Off	Off
Talk Beep	トークビープ	On/Off	Off

Key Function (キー機能選択)

PTT キーの下にある PF キー (Programable Function Key) に様々な機能を割り当てることができます。

■ PF キーに設定できる機能

フラッシュライト (Flashlight)

スキャン (Scan)

アラーム (Alarm)

FM ラジオ (Radio)

モニター (Monitor)

録音 (Record)

機能設定なし (Unassigned)

■ 設定方法：

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します。
- 2 ▲ / ▼ キーで Key Function を選択し MENU キーを押します
- 3 ▲ / ▼ キーで割り当てる機能を選択して MENU キーを押します。
- 4 MENU キーを押すと設定が確定し、機能リスト表示へ戻ります。
- 5 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

★フラッシュライト (Flashlight)

フラッシュライトに設定された PF キーを押すと、無線機上部のライトのオン (点灯) / オフ (消灯) ができます。

★スキャン (Scan)

スキャンに設定された PF キーを押すと SCAN のオン / オフができます。

スタンバイ状態で SCAN をオンにすると、使用チャンネルのサーチを開始します。スキャンモード中はLCDに“SCAN”と表示されています。

スキャンの方向は▲ / ▼キーで選択し、スキャン中に有効な信号を受信するとそのチャンネルで一時停止します。その際に PTT を押すとそのチャンネルで送信ができます。送信終了または受信信号が無くなると5秒後にスキャンが再開します。

スキャンを完全に停止するときは SCAN(PF) キーまたは MENU キーを押します。

★アラーム (Alarm)

アラームに設定された PF キーを押すと Alarm のオン / オフができます。

アラームがオンになると無線機のスピーカーからアラームが鳴りだします。

アラームを止めるときは再度 Alarm(PF) キーまたは PTT を押します。

★FM ラジオ (Radio)

FM ラジオに設定された PF キーを押すと FM ラジオのオン / オフができます。

FM ラジオモード中は FM の周波数表示になります。

FM ラジオモードで MENU キーを押すとスキャンを開始します。(スキャン方向は▲ / ▼キーで選択できます) FM 放送局の受信をしたらスキャンは停止します。また、▲ / ▼キーで順次周波数を変えられます。

FM デュアルウォッチがオンの時、トランシーバーの待受けチャンネルが受信するとトランシーバーモードへ移行します。トランシーバーの送受信が約5秒間途切れると FM ラジオへ戻ります。

★モニター (Monitor)

モニターに設定された PF キーを押すと、モニターのオン / オフができます。

受信信号強度が弱いときなどモニター (PF) キーを押すとスケルチが解除され、弱信号を受信することができます。スケルチはモニターキーを押している間のみ解除されます。

★録音 (Record)

録音に設定された PF キーを押すと、録音機能のオン / オフができます。

録音機能をオンにすると“REC”と表示され、受信した音声、PTT を押して送信するときの音声を録音します。録音時間は最長で約 8 分です。

★設定なし (Unassigned)

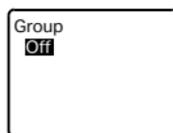
機能を割り当てないときに選択します。

その他の便利な機能

グループ番号の設定 (Group)

グループ番号を設定することで、同じチャンネル、同じグループからの信号のみを受信することができます。グループはチャンネル毎に設定できます

- 1 ▲ / ▼キーでグループを設定するチャンネルを選択
- 2 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 3 ▲ / ▼キーで Group を選択し MENU キーを押します



- 4 PF キーを押して使用するグループの種類を選択します
(PF キーを押すたびに CTC/DCS/OFF が切り替わります。)
- 5 グループの種類が決まったら▲ / ▼キーでグループ番号を選択します
- 6 MENU キーを押すと設定が確定し、機能リスト表示へ戻ります。
- 7 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

選択できるグループ番号

CTC	1-38
DCS	1-104
Off	グループを使用しないとき

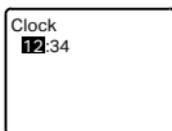
! 注意

グループ機能を使用する場合、通常は CTC の 38 グループから選択してください、CTC38 グループは弊社トランシーバー及び他社製品と互換性があります。本機種のためのグループ通話をしたときに DCS グループの選択をすることをお勧めします。

時刻設定 (Clock)

スタンバイ状態の時に表示する時刻の設定をします。表示は 24 時間表示のみです。時計は受信待受け時、FM ラジオモード中は常に表示します。

- 1 MENU キーを 2 回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Clock を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで時間を設定して MENU キーを押します
- 4 ▲ / ▼ キーで分を設定して MENU キーを押します
- 5 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

❗ 注意

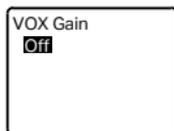
時計は電池が入っている時だけ動作します。電池が空になったときや電池が本体に入っていないときは、時刻はその時点で止まります。充電後（または充電済み電池を装着後）に再度時刻の設定を行ってください。

時計精度：月差±5分

VOX 感度調整 (VOX Gain)

VOX 機能を使用すると PTT キーを押さずにマイクに向かって話すだけで、自動的に送信することができます。話を止めると自動的に受信待受け状態になります。VOX 機能が有効になっている時、“V” アイコンが点灯します。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで VOX Gain を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで希望する感度または OFF を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

設定値：Off, 1, 2, 3 数字が大きいほど感度が高くなり、より送信しやすくなります。

ヒント！

VOX 機能とトークビープ (Talk Beep) を組み合わせて使うと、話を開始するタイミングが音でわかるので、VOX の機能をさらに便利に使うことができます。

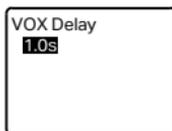
！ 注意

- VOX 機能は受信時、確認音が鳴っている時、コールトーンが鳴っている時、スケルチ OFF の時、各機能設定中は動作しません。
- VOX 感度を高くした場合、周囲の環境によっては常に送信状態になる場合があります。

VOX 保持時間 (VOX Delay)

VOX 動作で送信が開始されたとき、音声がなくなってから送信を保持する時間を設定できます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼キーで VOX Delay を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼キーで希望する時間を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

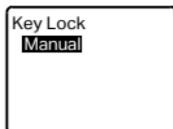
設定値 : 0.3 / 0.5 / 1.0 / 1.5 / 2.0 / 3.0 秒

キーロック (Key Lock)

キーの誤操作や不用意な接触などによりチャンネルやグループ番号が変わらないようにキーをロックすることができます。ここではキーロックの動作を手動か自動の選択ができます。

キーロックが有効になった場合、PTT 以外のキーがロックされます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Key Lock を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで Manual または Auto を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

設定値

Manual	Menu を押し、続けて▲を押すとキーがロックされます。
Auto	最後に操作をしてから約 45 秒間何も操作が無いと自動的にキーロックになります

⚠ 注意

キーロックの設定は、電源をオフにしたり電池を抜いたりしても保持します。

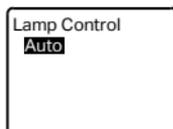
キーロック解除

キーロックの解除をするときは MENU キーを 1 秒以上長押ししてください。キーロックが解除されると “Keypad Unlock” と表示されます。

LCD バックライト設定 (Lamp Control)

LCD のバックライトを点灯するタイミングを設定できます。

- 1 MENU キーを 2 回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Lamp Control を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで On, Off または Auto を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

設定値

On	常にオン
Off	常にオフ
Auto	送受信時やキー操作を行うと約 5 秒間バックライトが点灯します

録音再生 (Play Record)

録音されたすべての音声を最初から再生します。途中で再生を止める場合はPFキーを押してください。(途中で再生を止めて、もういちど再生を行う場合でも、最初から再生が開始されます)

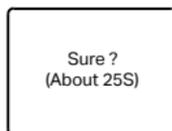
- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Play Record を選択し MENU キーを押します
- 3 録音された音声の再生が開始されます。(再生中は“Play the record” と表示されます)
- 4 再生が終了すると待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

送信する音声や受信する音声が大量に入力されると、録音される音が割れて聞き取りづらくなることがあります。

録音消去 (CLR Record)

録音された音声をすべて消去します。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで CLR Record を選択し MENU キーを押します



- 3 “Sure?” と表示が出ます。
消去を止める場合 PTT を押すと待ち受け画面へ戻ります。
- 4 消去を続ける場合 MENU を押す “Being erased” が表示され消去を開始します
(消去が完了するまで 20 ~ 25 秒間かかります)
- 5 消去が完了すると待ち受け画面 (メインチャンネル表示) へ戻ります



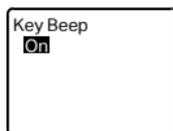
注意

本機をリセットした場合、必ず録音消去作業も行ってください。

キー操作音 (Key Beep)

キー操作をしたときにビープを鳴らすか鳴らさないかの設定ができます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Key Beep を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで ON または OFF を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

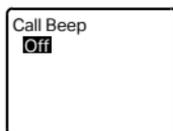
設定値

On	キー操作音あり
Off	キー操作音無し

呼出音 (Call Beep)

通話状態にないときに PTT を押すと呼出音（3種類選択可能）を送信します

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Call Beep を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで On(1,2,3) または Off を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。待ち受け画面には“CB”が表示されます

設定値

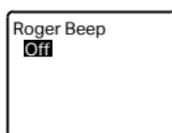
Off, 1, 2, 3

呼出音を使用しない場合は Off を選択してください

ラジャービーブ (Roger Beep)

送信を終了するとき音を送って、送信の終了を相手に知らせます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Roger Beep を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで On または Off を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。待ち受け画面には、“RB” が表示されます

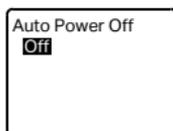
設定値

ON	終話音あり
OFF	終話音なし

オートパワーオフ (Auto Power Off)

オートパワーオフは一定時間操作がない場合、自動的に電源をオフにします。電源の切り忘れを防止する機能です。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Auto Power Off を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで希望の時間または Off を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。待ち受け画面には、“APO”が表示されます

設定値：Off, 10分、30分、1, 2, 3, 4, 5, 6時間

オートパワーオフを使用しないときは Off に設定してください。



注意

オートパワーオフで電源が切れた場合は、電源スイッチを一旦オフにしてください。

スケルチ設定 (Squelch)

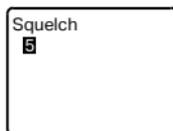
ここではノイズスケルチ（雑音をカットするレベル）の設定をおこないます。

スケルチ設定の値を下げるとより弱い信号でも受信しますが、より雑音が多くなります。

スケルチ設定の値を大きな値にすると、雑音の少ない音になりますが、より強い信号を受信しないと音が鳴りません。

0 に設定すると常に受信状態となり、信号を受信していない状態でも雑音が聞こえます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Squelch を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで希望の設定値を選択して MENU キーを押します
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

設定値：

0	スケルチオフ
1～9	値が小さいほど弱い信号で音が鳴りやすい



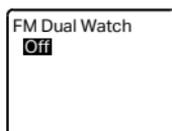
注意：特に問題が無い場合は、初期値の「5」くらいに設定してください。

FM デュアルウォッチ (FM Dual Watch)

デュアルウォッチを有効 (On) にすると、FM ラジオを聴いている最中に無線機の待受けチャンネルで受信すると、FM ラジオから無線モードに移行します。また FM ラジオを聴いている最中に PTT キーを押すと、無線モードへ自動的に移行して送信を続けます。(無線モードに自動移行したときは、LCD 上部に FM アイコンが点灯します)

無線機モードへ移行した後、通信が約5秒間途切れると無線機モードから FM ラジオ受信モードへ自動的に戻ります。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで FM Dual Watch を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで On または Off を選択して MENU キーを押します。
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります

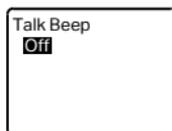
設定値：

On	FM ラジオ受信中に無線機モード有効
Off	FM ラジオ受信中に無線機モード無効

トークビーブ (Talk Beep)

PTT を押した直後に話を始めると会話の冒頭が切れてしまうことがあります。トークビーブ機能を有効にすると PTT を押した後にビーブが鳴ります。このビーブ音の後に話を始めることで会話の頭切れを減らすことができます。

- 1 MENU キーを2回押して機能リストを表示します
- 2 ▲ / ▼ キーで Talk Beep を選択し MENU キーを押します



- 3 ▲ / ▼ キーで On または Off を選択して MENU キーを押します。
- 4 PF キーを押すか、PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。待ち受け画面には、“TB” が表示されます

設定値

On	Talk Beep あり
Off	Talk Beep なし

ヒント！

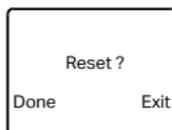
VOX 機能を使用していると、送信側（VOX 使用側）ではいつ送信になるかわからないため、自分の無線が送信になっていないのに会話を始めたりします。このため相手には会話の冒頭が届かないことがよく起こります。

このような場合にトークビーブ機能を使うことで会話の頭切れを大幅に減少できます。

リセット

リセットをすると、機能設定などはすべて初期値（工場出荷状態）に戻ります。

- 1 電源を切る
- 2 PTT と MENU を押しながら電源を入れてください。（Reset? と表示されます）



- 3 ▲を押すとリセットが開始されます（▼を押すとキャンセルされます）
- 4 リセットが終了すると”OK”表示が出て本体が再起動します

注意：録音機能を使用する場合、過去に録音した音声はすべて消去してから使用してください。

故障かなと思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表により確認してください。該当する症状が無い場合は、本体をリセットしてください。(39 ページ：初期設定に戻ります)

症状	原因	処置
電源が入らない	電池が消耗している	充電してください
受信できない・音が出ない	PTT が押されている	PTT を放す
	グループ番号が異なる	相手と同じグループ番号にする
相手と通話できない	チャンネルまたはグループ番号が違う	相手と同じチャンネル、グループ番号に合わせる
	相手との距離が離れすぎている	通話のできる距離まで近づく
キーを押しても表示が変わらない	キーロック状態になっている	キーロックを解除する
	その他の異常	リセットをする
表示がすぐに消える	電池が消耗している	充電をする
勝手に送信される	VOX 機能がオンになっている	VOX 機能をオフにする

それでも動作しない場合は

〒 194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8
株式会社エフ・アール・シー サービス課
TEL: 042-793-7746
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00】

■仕様

送受信周波数.....	422.050 ~ 422.175MHz (12.5kHz 間隔、11 波)
.....	422.200 ~ 422.300MHz (12.5kHz 間隔、9 波)
FM ラジオ受信周波数.....	76.0 ~ 95.0MHz 100kHz step
電波形式.....	F3E, F2D
送信出力.....	10mW
受信感度.....	-8dBuV 以下 (12dB SINAD)
低周波出力.....	500mW 以上 (@ 8Ω、10% 歪)
電源電圧.....	DC3.7V (専用 Li-Ion 電池パック)
使用時間.....	約 30 時間
測定条件: 付属新品電池満充電の状態、低周波出力定格 200mW、送信 10 秒、受信 10 秒、待受 80 秒の繰り返し動作	
動作温度範囲.....	-10°C ~ +50°C
寸法.....	約 98 (高さ) x 56 (幅) x 22 (奥行) mm
重量.....	約 99g (電池込み)
付属品.....	電池 (NX-20BT) AC アダプタ (NT-202AC) 充電器スタンド (FC-S22CG) USB 充電ケーブル (NT-202USB) ベルトクリップ (FC-S22BL) ストラップ (NT-202ST) 取扱説明書

■オプション品

イヤホンマイク.....	FPG-22F/23F/24F/26F
スピーカーマイク.....	FPG-25F

保証規定（本体のみ、付属電池は除く）

本取扱説明書に保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」等を記入、ご確認のうえ、販売店より受け取ってください。

- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。（電池に関しては、初期不良のみ交換対応）
- 修理を依頼される前に、「故障かなと思ったら」（40ページ）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、下記販売元にご連絡ください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合による通話不能等で発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書をご提示いただき、保証期間内であれば修理にて対応させていただきます。その際、製品を販売店にお持ち込みいただくか弊社宛に送付して頂くセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証期間中の代替機の貸し出しは行っていません。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様のご希望により有償にて修理いたします。その際は、下記販売元へ連絡願います。

無料保証規定

- 1 保証期間内に取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無償修理させていただきます。
- 2 次の場合には、保証期間でも有料修理となります。
 - (イ) 保証書の提示が無い場合。もしくは、お客様、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合
 - (ロ) 使用上の誤りや、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損害
 - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合
 - (ニ) 落下、冠水などによる故障及び損害
 - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び損害
 - (ヘ) 製造番号の変更もしくは取り外した製品
 - (ト) 消耗部品（電池等）

保証は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan)

*この保証は本書に明記した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店までお問い合わせください。

株式会社エフ・アール・シー

TEL: 042-793-7746 (10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00、土日祝日及び弊社休業日を除く)

URL: <http://www.frc-net.co.jp>

保証書

持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償修理させていただきます。

- 修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印の無いものは無効です。必ず記入事項の確認をしてください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本製品は持込修理とさせていただきます。

尚、電池に関しては、保証期間はご購入後1ヶ月となります。(正常な状態での使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合)

★ お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

★ ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、本保証書をお客様にお渡しください。

商品名	特定小電力トランシーバー FC-S22		
保証期間	1年間	購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL		
	お名前		
販売店名	住所		
	店名		

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西2-3-8

URL:<http://www.frc-net.co.jp>



4-143-001

Printed in China